

6 郡市活動報告

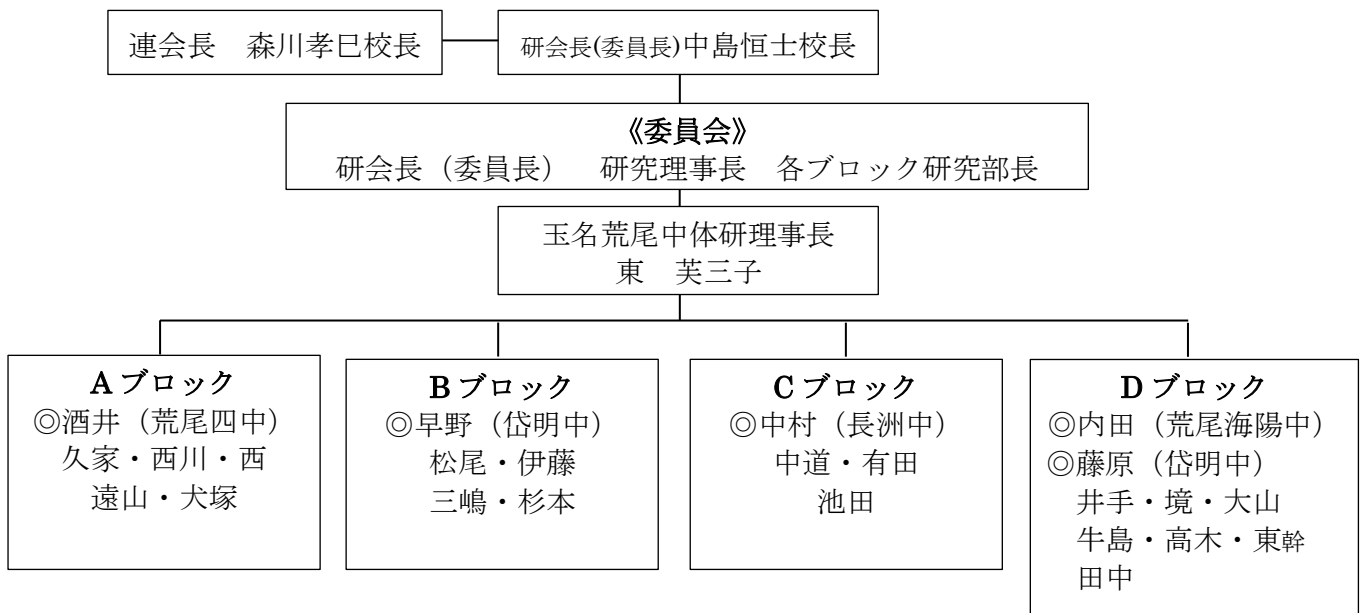
玉名荒尾中体研

理事長 東 芙三子

1 はじめに

玉名荒尾中体研は、中島恒士中体研会長（玉東中学校）、森川孝巳中体連会長（玉名中学校）を中心に玉名郡市13校、荒尾3校の体育担当で構成されている。今年度も「学び合い活動」に着目し研究を行った。運動量の確保の面で敬遠されがちな学び合い活動を、どのように工夫・充実すると、運動をすることに対して楽しさや喜びを感じ、体力も向上するのかを研究した。今年度は、研修・協議・授業研究、各学校の実践共有など行うことができたので、来年度はさらに充実したものになるよう研究・実践をしていきたい。

2 研究組織



3 活動状況

会議等	期日	内容
1 教育会教科等全体会	4月19日(水)	年間活動提案・協議、研究テーマについて
2 第1回教科等研修会(実技研)	8月17日(木)	学習構想案検討
3 第2回教科等研修会(授業研)	10月24日(火)	会場：荒尾第三中学校
4 第50回熊本県中学校保健体育研究発表大会	11月22日(金)	会場：人吉市カルチャーパレス及び人吉スポーツパレス
5 第2回評議員会	2月14日(水)	年間活動報告・反省 来年度への志向

4 研究テーマ

主体的・対話的で深い学びを引き出す保健体育学習の創造
—運動の楽しさや喜びを味わえる多様な学び方の工夫—

視点1 「ツール」

I C T機器
わかりやすい板書や掲示物
ワークシート

視点2 「場」

活動の場の工夫
ルールの工夫

視点3 「時間」

学び合いの時間
学び合いのタイミング
学び合いの回数

5 研究の概要

(1) 全生徒の実態調査について

玉名荒尾の「体力」の状況としては、男女合わせて48項目中46項目で県の平均を上回っており比較的高い数値にある。しかし、学び合い活動を通して技能向上や思考の深まりに成果を感じている生徒がほとんどであるが、約79%は「自分の意見をうまく伝えられていない。」「見た感想やアドバイスをうまく表現できない。」と答えており、表現の仕方や対話のポイントをこちらが提示すれば活動もより活発になり、運動の楽しさや喜びをより感じるのではないかと感じた。今年度は、3つの視点で学び合い活動を積極的に取り入れ、体力を高めるだけでなく多様な学び方を通して運動の楽しさや喜びを味わえるよう研究を行った。

(2) 対話的な活動を重視した授業研究について

荒尾第三中学校の高木健伍教諭による球技「サッカー」の授業では、サッカーの「速攻」をめあてに、チームで学び合い活動を行いながら実践する内容であった。生徒からは「速攻をするタイミングが難しかったが、次回は盛り上がりそう。」と感想が出ていた。まとめでは、青山賢治指導主事から、玉名荒尾中体研の研究視点に沿って、ツール・場・時間それぞれに、さらなる工夫と充実をするようにと助言をいただいた。



学び合いの視点を明確にした導入



対話的実践の実践



授業後の協議の様子

6 まとめ (成果と課題)

今年度は、県夏期研修会を玉名市で開催し多くの方に参加してもらうことができた。また研究テーマを絞り込み、令和6年度の県中学校保健体育研究発表大会に向けて、組織で運営ができるよう準備をしていきたい。